



(アイウエオ順)	氏名	対応可能なテーマ														研修形態			プロフィール・活動状況	対応可能地域			
		人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性的少数者	コミュニケーション	企業の社会的責任	セクハラ・パワハラ	ネット社会	新型コロナ	その他	講義	ワークショップ			講義+ワークショップ		
10	石松 リエ			○	○													○			大分県日田市生まれ。司会者・音楽家(ヴォーカリスト)・うたよみニスト。エホント 代表。2012年に日田在住 の3人で「絵本と音楽で心をそだてよう」を掲げエホント を結成。絵本セラピー、ワークショップ、エンタテイメントを行い、学校や公民館、会社、組合団体等で子育て世代や児童や生徒、学生等のいじめ問題、高齢者虐待など絵本を使って講演やワークショップを行う。特技は老若男女世代を問わず、誰とでもすぐ仲良くできること。歩くジュークボックス(ただし昭和に限る)そして占いです。	県内全域	
11	一法師 英昭		◎												教育関係		○			別府溝部学園短期大学非常勤講師 大分大学非常勤講師	県内全域		
12	井上 聡				○				○						国際理解教育 開発教育の視点にたったワークショップ	○	○	○	中学校指導教諭 生徒・保護者・教職員・事務職員向けにワークショップ型人権研修を行っている。	県内全域			
13	井上 杉夫	○	○	◎	◎	◎	◎								安心・安全(事件事故の被害防止)に関すること。 少年の健全育成に関すること。	○			2020年3月に警察官を定年退職するまで、主に刑事・生安部門で、相談や事件捜査を通して様々な人権侵害に対応してきました。退職後は「口演家」として、安心・安全や、少年の健全育成、人権問題等を、堅苦しくなく、笑顔にのせてお届けしています。今、日常生活で発生している事案への現実的な対応方法を皆さんにお伝えします。	県内全域			
14	岩川 義枝			○														○		私は福岡から30年前に結婚を機に大分の地にまいりました。アナウンサーの経験を生かし 司会・講師派遣会社トークオフィスを設立 女性メンバー15名で 年間500件以上の披露宴の司会やイベント司会など担当し また企業の人材育成講師や大学の非常勤講師として若者の教育・育成に携わっています。また ロータリークラブ等奉仕活動や『100年の樹 フルーライトアップ実行委員会』の役員として 自閉症をはじめとする発達障がいの啓発運動を行ってきました。障がい児を持つ母でもあり 障がいを持つお子さんの保護者の相談を受けることも多く 現在は 大分市議会議員としても活動をさせていただいております。このような経験を生かし コミュニケーション講座を中心に 女性の人権や障がい者の人権等をテーマにお話をさせていただいております。	県内全域		
15	江藤 裕子				○		◎		○						障がい「発達障がい」 薬害肝炎当事者として 病気の子どもを持つ親として DVの家庭に育って	○		○	H22.6にNPO法人「共に生きる」を設立。 現在、ふたりの息子の発達障がいに関わり添った経験を活かし発達障害当事者会、電話相談、個人面談、発達障害啓発講演会を開催する。R4.4 法人解散 任意団体となる。	県内全域			
17	大久保 和則	○	◎	○	○	○	○	○		◎	○	◎	◎	○				○	○	○	現在、宇佐市社会教育指導員として安心院中央公民館に勤務しています。 元NTT西日本大分グループ人権担当 NPO法人アンリッシュ事務局長 (人権・部落差別問題に取り組む) ※アンリッシュとは束縛からの解放のことです。	県内全域	
18	大滝 弘子	○																	○	○	大分市生涯教育指導者、人権啓発団体“ブブラ”所属、講師歴17年 いけばな教室(小原流一級家元教授)や人権啓発ワークショップを開催。	県内全域	
19	大塚 瑞恵			○															○	○	○	色彩心理セラピスト、カラーアナリスト、色彩心理ファシリテーター、色彩福祉アドバイザーとして活動。クレヨン等色を使ったコミュニケーション手法をワークショップも行って指導。	県内全域
20	大村 恵子	○			○														○	○	高校の非常勤講師(スクールソーシャルワーク兼任)	県内全域	

(アイウエオ順)	氏名	対応可能なテーマ														研修形態			プロフィール・活動状況	対応可能地域	
		人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性的少数者	コミュニケーション	企業の社会的責任	セクハラ・パワハラ	ネット社会	新型コロナ	その他	講義	ワークショップ			講義+ワークショップ
21	小野 一信	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	◎							○			38年間教職生活を続けてきました。その後退職して2年間は玖珠町隣保館に社会教育委員として勤務し、広く町民に対して人権講演を行ってきました。さらに3年間は玖珠町教育委員会に部落差別解消推進指導員として勤務し、教職員や役場職員を中心に、人権研修を行っています。人権が大切にされる町づくりの推進に向けて、人権擁護委員(2期目)としても、その一翼を担い、努力しています。	日田市、玖珠町、九重町
22	小野 祥美	◎		◎	○					◎		◎	◎				○	○	米国NLP協会認定プラクティショナー DV被害者支援や女性問題等の市民相談や啓発活動を行っている。 女性の安全と健康のための支援教育センター会員	大分・別府市以外は公共交通機関利用	
23	片倉 誠二	○	○			○											○		大分みらい信用金庫に43年間勤務 金融内部監査士 株式会社GARYU ケアサポート学院 理事長 介護職員初任者研修 講師	大分市周辺	
24	加藤 文子																○		・「大分県社会福祉事業団」に在職中で障がい児・者の支援に関わっている。現在は、宇佐市にある「大分県糸口学園」に勤務している。 ・資格:保育士、幼稚園・小学校教諭1種、介護福祉士、介護支援専門員 ・九州総合スポーツカレッジの非常勤講師として「障がい児保育」「教育心理学」の講義をしている。	県内全域	
25	河野 龍児																○		(株)リフライ取締役副社長、地域相談支援センター湯羽花で、相談支援専門員として高齢者・障がい者を支援。車椅子体験や障害者の人権について等学校訪問ワークショップ。別府市インクルーシブ防災…災害時要配慮者支援の取り組み。 障害者職業生活相談員資格認定、県身体障害者相談員協会副会長 別府市北部身体障害者福祉協会会長、別府市障害者自立支援協議会委員 (一般社団法人)福祉フォーラムin別杵速見実行委員会代表理事	県内全域	
26	木村 瞳		◎	○		○											○	○	国東市隣保館指導員	県内全域	
27	河野 昭三	○	○	○	○	◎	○				◎	◎	◎	○			○	○	2018年までの15年間、大分職業能力開発サービスセンター(職能協会内)の人材育成コンサルタントとして、県内各企業の人材育成支援をした来ました。その後も、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、健康生きがい作りアドバイザーとして、県内各地でカウンセリングやいろいろなテーマの講演活動を続けています。今後は人権啓発にも時間を割くつもりです。	県内全域	
28	河野 民子	○																○	○	厚生労働大臣公認手話通訳士 大分県聴覚障害者協会認定手話通訳者 登録手話奉仕員研修講師・手話通訳士養成講座講師 手話通訳者養成講座講師 手話通訳者として活動	大分市、別府市等近隣中津・宇佐方面も可
29	小島 典子		○																日田市役所にて、2年半ほど部落差別解消推進の仕事に携わる中、部落差別に関する正しい認識・情報をもっと多くの幅広い年齢層の方々に、もう少し違った方法でお伝えすることができればいいと思うようになり、現在勉強中です。講師はまだまだ先の目標です。	日田市内	
30	児玉 隆志	○	○			○											○		大分県自治労研究集会 人権研修会の講師 津久見市人権対策室長→2019年4月～長寿支援課長→2021年3月退職 熊本大学「社会連携科目」講師、津久見市企業研修の講師 更生保護女性会 人権研修の講師 真宗大谷派 解放研修会の講師 新任民生委員・児童委員人権研修 森林組成人権研修 介護老人保健施設つくみかん 事務長(2023年4月～)	県内全域	

(アイウエオ順)	氏名	対応可能なテーマ														研修形態			プロフィール・活動状況	対応可能地域		
		人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性的少数者	コミュニケーション	企業の社会的責任	セクハラ・パワハラ	ネット社会	新型コロナ	その他	講義	ワークショップ			講義+ワークショップ	
31	後藤 史明	○	○				○										○			自分で学んだ人権課題について、分かりやすく説明することに重点をおいて研修を組み立てます。活動状況としては、市職員や市内の団体に対して行う研修を担当しています。	県内全域	
32	近藤 浩二	○								○							○			豊後高田市職員。人権啓発活動に携わっている。	県内全域	
33	佐藤 智子			○														○	○	大分市男女共同参画推進登録団体。ダブルケア大分県しましまかふえ代表。(ダブルケアとは、育児と介護が同時進行になっている状況を指す言葉。)自身の経験談を踏まえながら、ダブルケアの問題点や当事者の実態などをお話します。今後、社会が増えていくと言われているダブルケアラーをたくさんの方に知っていただき、30代でも介護に直面する方達がいたとしても、若い時から介護を備えることの大切さやケアだけの生活にならず社会資源をうまく使って自分らしく生活する事を啓発します。登壇実績・大分県社会福祉協議会 子育て環境セミナー・九州緩和ケア学会 特別講演・幼稚園保護者会・小学校PTA 母親会WSなど活動状況・毎月1回の集い、情報交換会。話して=(手)放そうをテーマに日々の何気ない事や、家族に対する想いなどみんなで話します。	県内全域	
34	佐藤 康雄	○			◎	○					◎		○	○	○		○	○	○	傾聴力養成 人に合わせたコミュニケーション 方法 アサーション	自分の子供の頃の、いじめを経験し自分自身が変わりたいと思った経験や、カウンセラーになった想い、15年以上の経験を活かし、「自己肯定力・感謝・自愛」をキーワードに「気持ちが楽になり笑顔になれる、今より生き方が楽になる」今日からできる事に気づく笑顔あふれる講演を行います。	県内全域
35	佐藤 弥生	○		○	○	◎					◎	○	○				○	○	○	人生100年時代を見据えた自己重要感を高めるテーマ「〜ひとりひとりを尊重して〜人生100年時代を豊かに生きるために」	元民生・児童委員、元学校評議委員 元校区社会福祉協議会評議委員、認知症キャラバン・メイト 心理カウンセラー養成コース修了 交流分析士 一般社団法人ライフラーニング協会認定講師 ※ライフラーニングとは、老齡学、加齡学の事です。	県内全域
36	重石 多鶴子			○	○	○											○	○	○	人と人をつなぐためのツールとして「プレイバックシアター」(即興劇)を学び、ワークショップや講演による活動を10年間継続している。主に、子育て支援や子どものいじめ防止に関わる活動により、他人の体験を自分事として共感する場を提供している。また、子どもの権利条約に基づく子どもアドボカシーについて学び、子どもの人権を守る活動に関わっている。	県内全域	
37	進 美保子	○		○	○	○				○	◎	○	○	○			○	○	○	感情のコントロール 自己肯定感、自己受容 メンタルヘルス、アンガーマネジメント など	人権擁護委員(大分市)。大分県人権問題研修講師団講師。企業研修(人材育成・社員教育・ビジネスマナー)、就職支援、講演を行っています。人とかかわりで大切なのが「自分の状態」です。行動や言動を左右する「感情」の存在を知ること、振り回されることなく自分軸で冷静に向き合えるようになります。笑いをプラスして、楽しみながら受けていただくことで、記憶にのこり日常に活かせる内容となっています。落語を題材にした「答えは落語の中にあっただ」シリーズなどちょっと違った視点で、泣いて笑って心開いて、感情を味方に、自分も相手も周囲も大切に。人生をより良く生きるヒントをぜひ手にしてください。※ご希望にあわせて(下手ですが)落語もします。	県内全域
38	須藤 里美			○	○	○	○										○	○	○	〜笑顔と元気をお届けする「幸せ宅配便」ハッピー里ちゃん〜のフレーズ通り、明るく、楽しく、わかりやすい講座です。 絵本の読みかかせを軸に、人権講演の活動を行っています。	県内全域	
39	田浦 淳一					○	○										○			高齢者分野(認知症中心)、障がい者(就労系、居住系)、障がい児(放課後等デイサービス)、相談支援専門員としての相談業務等の経験が30年あります。 初任者研修、実務者研修、強度行動障害支援者養成研修、同行援護従業者養成研修の講師もおこなっています。	大分市中心部から90分以内	

(アイウエオ順)	氏名	対応可能なテーマ														研修形態			プロフィール・活動状況	対応可能地域	
		人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性的少数者	コミュニケーション	企業の社会的責任	セクハラ・パワハラ	ネット社会	新型コロナ	その他	講義	ワークショップ			講義+ワークショップ
40	高瀬 秋吉	◎									○	○					○	○	社会保険労務士として活動中	県内全域	
41	高橋 隆代			○	◎		○											○	NPO法人パワーウェーブ日出地域福祉担当 (内閣府)子ども若者育成支援のための青年リーダー (ハウスキーピング協会)整理収納アドバイザー認定講師 発達障害住環境サポーター、(エフフィールド)いのちの授業認定講師	県内全域	
42	高橋 智秀	○			○	○	◎					○					○	○	○	社会福祉法人みずほ厚生センター 法人本部 事務局長 臼杵市地域自立支援協議会会長 社会福祉士、福祉施設士、防災士 認定 特定非営利活動法人 おおいた成年後見権利擁護支援センター副理事長	県内全域
43	詫摩 千晴			○	○					○	○	○		○			○	○	開業助産師。性教育認定講師。	県内全域	
44	田坂 義巳	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○					○	○	公立小中学校教諭、教頭、校長勤務。その後玖珠町商工会事務局長を5年勤め、昨年度より玖珠町社会教育指導員として人権研修講師として活動中。	県内全域	
45	立花 憲一	○	◎			◎	○				○				隣保館の役割 2級課程ホームヘルパー初任者 研修(職業倫理)	○	○	元日田市同和対策室長・福祉事務所長 定年退職後、日田市社会福祉協議会事務局長、日田市京町地区集会所長(隣保館)を歴任、隣保事業士 日田市同和対策審議会委員、日田市「人権」に関する市民意識調査実施委員、日田市人権研修講師	県内全域		
46	正 くにか	○		○	○						◎				人間関係 いじめ問題	○	○	○	生涯学習の場としてNPO「座・いきだよ」を主宰し50年。人権いじめ問題講師として、これまで県の内外で300回以上講演 カウンセリング、コミュニケーション等を通して、人生とは何か？を考えて、自己決定して生きる大切さを考えるワーク、講座 ◎人間関係における→自分の内側のバランス関係と距離感 安心・安全・幸せに生きることをモットーとしている。	県内全域	
47	豊田 哲治		◎														○	○	元杵築市立上小学校長 元大分大学教育福祉科学部非常勤講師	県内全域	
48	西田 数子	○		◎	○	◎					◎		○	デートDV パワハラ モンスターペイシエント ジェネレーションギャップ	○			東京アカデミー講師 藤華医療技術専門学校教員 助産師、ストレスチェック実施者 大分県男女共同参画審議会委員 産業カウンセラー	県内全域		
49	西村 慶治	◎		○	○	○		○			◎	◎	◎	○	プライバシー保護、 職場における人権問題、人権意識 や自己の振り返り等	○	○	○	特定社会保険労務士・キャリアカウンセラー西村慶治事務所代表、大分市生涯学習指導者、1級販売士、産業 カウンセラー、キャリアコンサルタント(国家資格)、大分県普及指導協力委員、得意ワザはクラシックギター。	県内全域	
50	葉月 えみ	◎		○	○	○	○		○		○	○	◎	○	プライバシー保護 見かけによる偏見、差別	○	○	○	元府内高校非常勤講師、元鹿児島女子短期大学非常勤講師 元一般社団法人ビタミンメイクセラピー協会代表理事(医美心研究会) メイクセラピー普及活動と見た目の差別解消活動にも取り組んでいる。みんくるカフェ大分顧問。健康と医療について対話する会を開催中。現在は、虐待とは何かについて研究中。 2022年NPOレジリエンス+αの副理事となり、ハラスメントについて考える会を発足。	公共交通機関の利用範囲	
51	匹田 久美子	◎	○	◎	◎	○			◎	◎		○					○	○	○	一人ひとりの違い(多様性)こそが、社会(地域や組織)の力になることを伝えたいです。	県内全域
52	久住 真和	◎	○	○	○	○	◎				○		○	○	「破戒」から考える差別のメカニズム ダイバーシティ(多様性)研修 発達障がい支援 終活・エンディングノート	○	○	○	本読む「気づき」の伝道師。大分県職員。大分県発達障がい者支援専門員、第一種衛生管理者、情報処理技術者(情報セキュリティマネジメント)。組織内外の人権のあり方が関心事。 趣味で近代に活躍した人物の評伝などに親しんでいる。特に、郷土の先哲である福澤諭吉の思想や作家 野上彌生子の著作には、人権に関する気づきや学びの素材が多くあると感じている。 活動を通して皆さんと学びの楽しさを共有したい。	県内全域	

(アイウエオ順)	氏名	対応可能なテーマ														研修形態			プロフィール・活動状況	対応可能地域
		人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性的少数者	コミュニケーション	企業の社会的責任	セクハラ・パワハラ	ネット社会	新型コロナ	その他	講義	ワークショップ		
53	福村 計幸	○														○			元心理相談員、元高等学校評議員、キャリアコンサルタント、防災士、衛生工学衛生管理者、情報処理技術者(初級システムアドミニストレーター)	国東市以外
54	牧野 久美子		◎													○	○		宇佐市隣保館に指導員として勤務。地域において小・中・高校の学習会に参加。	県内全域
55	松木 和美	○		◎	◎						◎		◎			○	○	○	心理カウンセラー(日本カウンセリング学会所属) 大分県男女共同参画審議会委員 大分県デートDV防止セミナー講師 現在実施中の講座「女性のためのエンパワーメント講座」「親子のコミュニケーション講座」「傾聴セラピスト養成講座」「体罰によらない子育てスキル講座」等 H28 大分県知事表彰/R元 大分県家庭裁判所 所長表彰/R2 最高裁判所長官表彰	県内全域
56	マックビーン 光子	○	○	◎	○	○	○	◎	◎	◎		◎	○	○		○	○	○	「一人一人が笑顔で輝いて生きる」をテーマに、40年間のカウンセリング経験を活かし、「笑顔・感動・ほめる」をベースにしたわかりやすい内容で、参加者がハッピーな気持ちになっていただけるような人権講演です。	県内全域
58	松縄 英孝	○	○	○	○					○						○	○	○	杵築市職員を退職後、市の社会教育指導員を5年間務め、その後大分県人権問題講師団講師となり、市内外の研修に行っている。スポーツが好きで、陸上、弓道、テニスなど、毎日ほとんど行っている。人権を学ぶことは、人格を向上させるをモットーに日々学習を続けている。	県内全域
59	松本 久美子	○		◎	○	○					◎		◎	○	○	○		○	フリーアナウンサー 人権擁護委員、別府地区更生保護女性会理事、(公財)介護労働安定センターヘルスカウンセラー。 2009年から、九州、中国地方を中心に「言葉」による人権尊重をテーマに、数多くの行政関係や企業の講演会や研修会で、講師を務めている。主として「コンプライアンス・ハラスメント・コミュニケーション」。 大分合同新聞文化教室講師、日本レジエンスカウンセリング協会心理支援士、日本コミュニケーション能力認定協会講師	県内全域
60	三重野 真美				○					○	○					○		○	大分市を中心に包括的性教育の講座や啓発活動を行っています。性教育は狭義の意味の二次性徴や生殖に関する話ばかりではなく、その前に関係性の話や心の土台がとても大事になります。ご参加の方が安心して聞けるような環境作りもしながら、対話やワークも取り入れながら行っています。大人向け講座、親子講座、教職員研修、個別相談を行っております。 主な経歴:大学病院を12年勤務した後、看護学校教員を経験し、その後3人の子供の子育て中に包括的性教育の勉強を深め、2021年に「性のお話ができるおへやmami25」として講座を開始しました。現在も看護学校の外部講師として母性看護学を教授。資格:助産師、看護師日本思春期学会性教育認定講師、防災士、ベビーマッサーインストラクター	県内全域
61	御手洗 詳子			○	○	○	○			○	○		○			○		○	産業カウンセラー、ストレスケアカウンセラー 「幸せになるために産まれてきた」をベースに、笑顔になり、温かな気持ちになるような優しい講演をお届けします。	県内全域
62	御手洗 洋子	◎	○	○	○					◎						○		○	様々な人権課題から、受講者と一緒に、自分ごとの「人権」、「差別の根っこ」を考えていきます。 大分県の人権行政を担当(2021~2022年度)していた経験等をもとに、人権を「学ぶ」ことの大切さや、一人ひとりの「行動」が、マイノリティだけでなく誰もが生きやすい社会をつくることを、わかりやすく伝えたいと思っています。	県内全域
63	南 由美子				○	◎				◎	◎	◎				○	○	○	企業内の組織コミュニケーションなど研修を仕事にしています。 健康づくり教室の指導者で、高齢者の問題にも取り組んでいます。	県内全域
64	峯松 徹		◎													○			2005年より杵築市隣保館指導員として勤務(隣保事業士資格取得) 様々な研修により得た知識と指導員として得た活動経験をもとに現代の部落差別問題に日々関わり、啓発を行っています。	県内全域
65	諸富 幹夫	○		○	○						○	○				○		○	元NTT西日本大分支店人権啓発室主査 元国東町人権・同和教育推進協議会専任講師 元部落解放共闘大分県民会議事務局次長、元(社)大分県労働者福祉協議会専務理事	県内全域

(アイウエオ順)	氏名	対応可能なテーマ														研修形態			プロフィール・活動状況	対応可能地域	
		人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性的少数者	シヨニケ	企業の社会的責任	セクハラ・パワハラ	ネット社会	新型コロナ	その他	講義	ワークショップ			講義+ワークショップ
66	矢野 妙子			◎	◎					○	◎	○					◎	○	○	病院、産婦人科クリニック勤務を経て2017年やの助産院を開設。産後ケア、母乳育児支援・育児相談を中心に活動、同時に看護師として地域医療にも携ってる。 「孤独な出産、育児を避け、ママ達を繋げたい」という強い思いを持ち、よくよく聞いて、ママ達の思いを大切に、ぐっと寄り添う姿勢でケアを行っている。ママ達が安心して心地よく通える場づくりもできており、ママたちが繋がることにおおいに貢献している。 また、県内の小、中、高校、大学での性教育に関する講演や性の知識を学べるイベントの講師を務めている。 (保有資格)・助産師(アドバンス助産師)・産後ケア実務助産師・受胎調節実施指導員・看護師・イトオテルミー療術師(温熱療法)・防災士	県内全域
67	山田 政枝			○		○											○			職場や家庭における男女平等と公平の違いに関心を持っており、これまでの実体験をもとにお話ができればと考えています。	大分市内
68	山月 孝	◎	◎			◎	◎			◎							○	○	○	県立高校の教員を定年退職後、ハローワーク大分手話相談員(5年間)、県高等学校同和教育研究協議会事務局長等を経て、人権講師(県啓推協、県教委、大分市)として活動中。	県内全域
69	山本 紀子	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○		◎	○	○				○	○	○	元小学校長、社会教育委員、人権擁護委員 食育、子育て、人権、女性の生き方、老後の生き方などの講演活動	県内全域
70	山本 政信		○		○										○		○			2015年度から、日田市の北友田三丁目地区集会所で、部落差別問題を始め、様々な人権問題を勉強し、啓発活動を行っている。	県内全域
71	山本 裕子		○			○				○	○							○	○	日本文理大学非常勤講師、認知症サポーター養成研修講師、認知症介護実践者研修講師、認知症介護実践リーダー研修講師、NPO法人 さわやか佐伯所属、社会福祉士、介護支援専門員、介護福祉士 幼少期から家族の認知症介護を体験する。当時は「認知症」や「ヤングケアラー」と言う言葉もない中、誰に何を相談したらいいのかを悩みながら学生時代を過ごす。その経験から、少数派の当事者が社会で生きやすい社会への一助になればいいと思う、人権啓発講師として活動している。	県内全域
72	雪松 太樹				○	◎	○	○	○	○							○	○	○	資格:介護福祉士、介護支援専門員、社会福祉士、公認心理士、日本語教師 職歴:介護職、相談員、施設管理者 現在:介護等研修講師、外国人支援団体(監理団体所属)	県内全域
73	吉本 寛子			◎						○							○	○	○	NPOえばの会 ( <a href="https://ebanokainpo.wixsite.com/index">https://ebanokainpo.wixsite.com/index</a> )代表 差別や暴力などを受けている女性、子ども、LGBT等の支援、DV・デートDV防止啓発に取り組んでいる。 社会福祉士、精神保健福祉士、大分県男女共同参画審議会委員 「大分県人権尊重社会づくり推進功労賞」「大分県女性のチャレンジ賞」	県内全域